

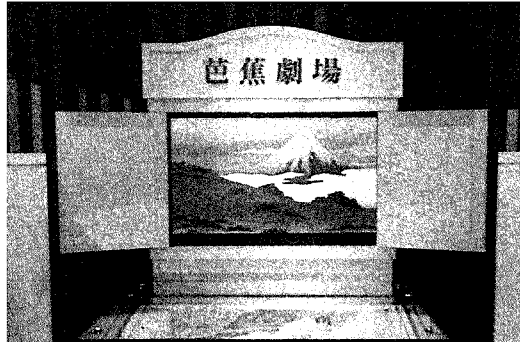
「ミュージアム都留」

館内紹介 (一)

富士急行線谷村町駅前の家中川に面して建つ、モダンで落ち着いた感じのある建物が、都留市博物館「ミュージアム都留」です。

館名は誰でも親しみが持て、幅広い活動を目指すようにと名付けられました。

もう入館されましたでしょうか。今回から、このミュージアム都留の館内を紹介します。



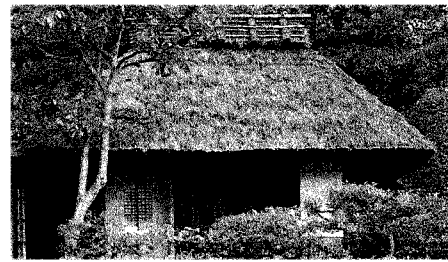
芭蕉の谷村流寓再現！

「芭蕉劇場」

ミュージアム都留には、すでにご紹介しましたとおり、八朔祭屋台や本市の特色ある歴史を大型映像などでわかりやすく紹介する第一展示室と、特別展や企画展を開催する第二展示室があります。

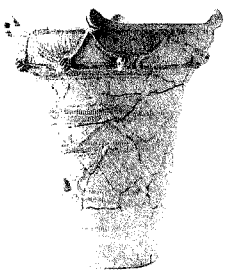
これらの内、第一展示室に、秋元喬知が城主であった天和三年(一六八二)に、約半年間にわたって本市に逗留した松尾芭蕉を紹介する電動式紙芝居「芭蕉劇場」があります。

芭蕉劇場では、『江戸から本市へ向かう道』『城下町入口』『谷村城前』『泰安寺』『桃林軒での句会』『田原の滝』の六場面を通じて、「俳句の神様」と称される松尾芭蕉がなぜ本市にきたのか「本市でどのような俳句を詠んだのか」「芭蕉の本市への思いはどうであったのか」などを、芭蕉と本市のかかわりを、楽しくわかりやすく紹介しています。三十七年前にタイムスリップして、芭蕉の真相に迫ってみてはいかがでしょうか。



桃林軒イメージ図

この芭蕉劇場に登場する桃林軒は、秋元の国家老高山伝右衛門繁文(俳号樂庵)の屋敷の離れで、現在のふるさと会館と文化会館の間にあります。芭蕉は、ここで約半年間逗留し、句会などを度々開催しました。この桃林軒を市民の手で復元しようと芭蕉翁の寓居「桃林軒」再建委員会が発足し、来年春完成を目指して活動が開始されています。



発掘された縄文土器

第二展示室においては、「郷土の画家米山朴庵展」―孤高の画家その知られざる世界―を引き続き開催しています。師の滝和亭の作品とともに三十数点を紹介しています。今月二十八日までですので、お見逃しのないようご案内します。八月からは、「土器と暮らし展」を開催します。夏休みに、ご一家で都留の古代に思いをはせるのも楽しいことです。詳しくは、八月の広報でお知らせします。



見事な掛軸「威震八荒」

ミュージアム都留 企画展のご案内

寺子屋ふるさと

調査員募集

ミュージアム都留では、一九九九年十二月から二〇〇〇年一月にかけて、「思い出の二十世紀展」の開催を予定しています。二〇〇〇年一月一日から今世紀最後の年、まさに世紀末になろうとしています。この記念すべき年にかけて、ミュージアム都留では、市民の皆さんにそれぞれの思い出を寄せ合っていたいただき、市民の手による展示会を開催しようとしています。

この展示会を構成・企画し、参加していただける方々を募集します。

明治・大正・昭和・平成と四時代を振り返り、都留市にとっても自分にとっても忘れられない出来事、嬉しいにつけ悲しいにつけ、いつまでも忘れられないことなど誰にでもあると思います。あの時代の思い出、あの時の記憶、そういうものを都留市の中から見つけ出していただきたいのです。調査員の登録をお願いします。

募集受付・問合せ

都留市博物館ミュージアム都留
〒402-0005 3
都留市上谷1-5-1

☎(45)80008・86008